作業開始前に本書を必ず一通りお読みになり、
内容をよく理解してから作業を始めて下さい。

HONDA '23- Rebel 250【8BK-MC49】

POWER BOX サイレンサー

（ステンレスポリッシュ / 耐熱ブラック 共通）

取付説明書

<取付所要時間の目安>
約 20分

〈 商品内容 〉

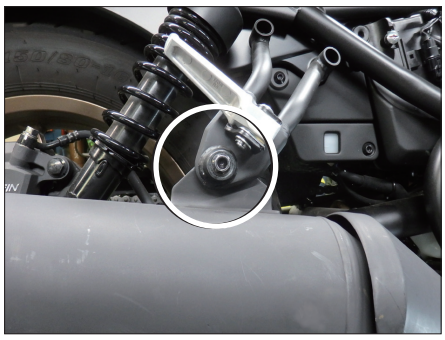
① POWER BOX サイレンサー　×1

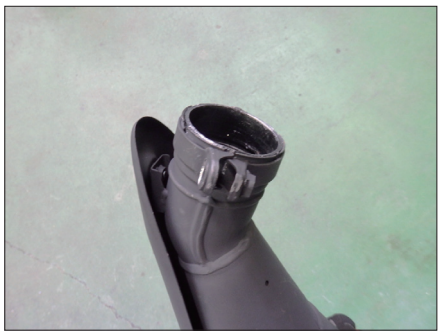
⚠ 耐熱ブラック塗装仕様をお買い上げのお客様へ

塗装面に手垢など、汚れが付着しない様に素手による作業は行わず、
必ず軍手などの手袋をしながら作業して下さい。
また、塗装面に傷を付けない様にウェスやビニールを巻いておくなど、
あらかじめ養生をしてから作業する事をおすすめします。

※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の商品とはパイプの形状等、一部異なる場合があります。
※ 作業は平坦な場所でエンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。
※ ボルト類の組み付け時には、緩み防止の為に“ ネジロック剤 ”を塗布の上、締め付ける様にして下さい。
※ キズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を 貼って養生しておく事をお勧めします。

❶ 純正サイレンサーを取り外します。





サイレンサー差し込み部のバンドを止めているボルトを緩めて抜き取ります。
サイレンサー上部を固定しているボルトを取り外します。
サイレンサーボディーを上下左右に小刻みに揺する様にしながら
ゆっくりと車体から取り外します。(取り外したバンドやボルト類は後で再使用します。)

サイレンサーのジョイントガスケットを
取り外します。
この後POWERBOXサイレンサーに
移植して再使用します。

❷ POWER BOX サイレンサーを仮組みします。 ※写真の製品はステンレスポリッシュ・タイプ

POWERBOXサイレンサーに
ジョイントガスケットを挿入します。
入れ難い場合には無理に押し込まずに
(形が崩れてしまいます。)潤滑剤やグリスを
塗って滑りを良くするなどして工夫して下さい。

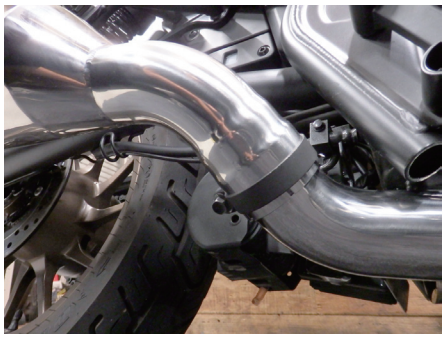
ガスケットを挿入したらサイレンサーバンドを
組み込んでおきます。
バンドの爪の位置は任意の場所で構いません。

POWERBOX サイレンサーを
エキゾーストパイプにゆっくりと慎重に
差し込んで行きます。あらかじめグリスを
塗ってから差し込むと滑りが良くなり、
ガスケットを傷めずに入れ易くなります。

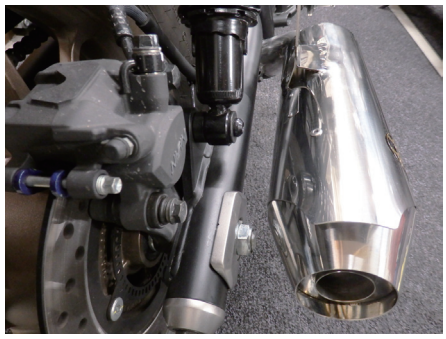
※純正パイプとの組み合わせでも、POWERBOX パイプとの組み合わせでも
サイレンサー接合部にはジョイントガスケットを使用します。
ジョイントガスケットは基本的には再使用しますが、
固着して取れなかったり、著しく傷んでいる場合には
Rebel250専用サイズのガスケットを別途ご購入の上、新品に交換して下さい。

【参考情報】
サイレンサー部ジョイント・ガスケット
HONDA純正パーツ品番：18391-MGP-D60

サイレンサー上部を仮止めします。
取り付けのボルト類は純正サイレンサーに
使用していたものを再使用します。



サイレンサーバンドをある程度締め込んで
おきます。(サイレンサー全体がグラグラと
大きく動かない程度に)



サイレンサー内側とスイングアームとの
間に隙間が確保されている事を確認します。
念の為荷重をかけてスイングアームを
動かしながらの確認も行なって下さい。

❸ 各部の隙間、取り付け状態を確認し、各部本締めを行ないます。

⚠ 【 ステンレスポリッシュ仕様の場合 】

本締めを終えましたら、作業中に付着した汚れや油分をパーツクリーナーでしっかりと拭き取ります。
汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますと後で落とすのが困難になりますのでご注意下さい。

⚠ 【 耐熱ブラック塗装仕様の場合 】

本締め後、パーツクリーナーなどの有機溶剤を使用して拭き上げる事は絶対にしないで下さい。 塗装が剥がれてしまいす。
塗装面には汚れを一切付けない様に保護しながら作業を完了させる様にして下さい。
汚れが付いてしまった場合には水を含ませ、固く絞った綺麗なウェスで優しく拭き上げて下さい。
耐熱塗装は最初に熱が加わる事によって徐々に定着していきますので、マフラー装着後に３０分程度の走行によって
しばらく熱入れを行なって下さい。 走行風で冷やしながら熱入れを行なうことが理想です。
ご使用開始間も無い頃にマフラーが完全に冷える前に水をかけたりウェスなどで拭き掃除をすることも絶対にしないで下さい。

❹ エンジン始動後、装着状態に問題の無い事が確認できましたら作業終了となります。

※ マフラー装着完了後も取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
※ 装着直後はマフラー内部に残った油分や塗料の油分により、白煙や臭いが発生する場合がありますが
走行を繰り返していくうちに徐々に収まって行きます。
※ 製品の構造上、ご使用状況によってはアフターファイヤーが発生する場合がありますが、
性能や耐久性に問題が生じるものではございません。
※ 製品によってはパイプやサイレンサーの一部に小さな穴を空けています。
これは水抜き用に設けられた穴ですので特に問題はございません。

※【グラス・ウールは消耗品です！】
マフラーの使用期間・使用状況によっては、音量が大きくなる事があります。
使用距離：10,000km毎を目安にサイレンサー内部消音材（＝グラス・ウール）の交換をお勧め致します。
（詳細は弊社までお問い合わせ下さい。）

上記の内容を良くご理解いただいた上でご使用下さい。